チャンスの時期の企業誘致施策について

産業用地の確保を

水谷 隆 議員
（自民・無所属・公明議員団／旧員弁郡選出）

問 日本経済の好況の中、バレー構想を初めとする政策により、県内への大規模投資が相次いでいます。国内への設備投資の加速が見込まれる中、今こそ企業誘致を初めとする産業振興に県として全勢力を傾ける時期だと考えます。

企業ニーズの高い県北部や伊賀地域は産業用地が不足しており、どのような方策で企業の受け皿である産業用地を確保し、対応を図るのかお伺いします。

また、企業誘致関係の補助金は、他府県に見劣りがするようになってきたと思いますが、他府県に対抗し得るインセンティブを、今後どのように構築していこうとしているのかお伺いします。

答 新規事業の「新しい産業立地基盤整備促進事業」で、無利子貸付制度を創設するなど、市・町と連携して産業用地対策を図ります。また、企業等が所有する未利用地の情報収集にも取組ます。

企業誘致関係の補助制度については、企業の立地動向や産業分野の成長性を見極めながら、競争力の高い、戦略性に富んだ支援制度を構築する必要があると認識しており、次期戦略計画の策定の中で検討します。

● その他の質問事項

○ 新しい農政に対応する集落営農の推進について　他

知事と語ろう本音でトークについて

離島での開催を

中村 勝 議員
（新政みえ／鳥羽市選出）

問 文化力を、施策や事業の考え方の基本に位置づけるのは良いことだと思います。そのためには、地域の文化を掘り起こし、豊かな文化資源を活かして地域づくりをしていく必要があります。三重の離島には、本土では失われてしまった伝統文化や風習が今も生き生きと息づいており、文化の宝庫です。

そこで、「知事と語ろう本音でトーク」を離島で開催できないでしょうか。知事に来ていただくことで、その効果は大きなものがあると考えます。島の人々は三重の離島であることを渇望し、三重県政の光を望んでいます。離島に来ていただけないでしょうか、お伺いします。

答 「本音でトーク」につきまして は、知事に就任以来、合併前の六十九市町村全てで実施し、鳥羽市については平成十五年九月にお邪魔しました。

続けて欲しいとのお声も多くいただいており、来年度も何らかの形で実施することを検討しています。

離島での開催は難しいと考えていますが、離島へは前々からお邪魔したいと思っており、「本音でトーク」とは別に、離島へ視察させていただく中で、離島の皆さんと真剣に意見交換をさせていただく機会を持てればと思います。

「本音でトーク」の模様

● その他の質問事項

○ 県南部の振興について　他

F1日本グランプリの今後の開催地について

継続開催への更なる取組を

清水一昭 議員
（新政みえ／鈴鹿市選出）

問 F1日本グランプリは、一九八七年から鈴鹿サーキットで開催されており、鈴鹿の知名度を世界的に高めました。しかし来年以降、鈴鹿での開催が不透明な状況になっております。

本年度からは、県を中心として「F1グランプリ地域活性化協議会」を立ち上げ様々な協議を行い、実現に向けて連携を図っていただいています。

知事が鈴鹿有利と自信を持っている根拠はどこにあるのか、また、来年度の開催日程の最終決定はいつなのか、さらに、継続開催を確実なものとするためにアクションを起こす必要があると考えますが、知事のお考えをお聞かせください。

F１日本グランプリ

答 鈴鹿サーキットでのF1グランプリの継続開催は、地元鈴鹿市をはじめとする関係者、私自身とも強く念願しており、昨年十月に、国際自動車連盟のモズレー会長と面談し、継続開催を要望したところ、鈴鹿サーキットに対して、高い評価を頂いたところです。

F1グランプリに「鈴鹿」はなくてはならない開催地であると思っております。開催地の決定時期は確定していませんが、今後も継続開催について、引き続き関係者に働きかけていくこととしています。

● その他の質問事項

○ 中学校への三十五人学級導入について　他

十八年度県政における諸課題について

熊野尾鷲道路への財源の確保を

森本 繁史 議員
（自民・無所属・公明議員団／旧熊野市選出）

問 知事が、県内の道路整備の促進を図るため、努力している姿勢は大いに評価させていただきます。

現在、政府は道路等の公共事業に概算要求基準を決め、道路特定財源の全部を道路整備に使用することはできません。

この財源で整備中の熊野尾鷲道路が、式年遷宮までの開通目標から大幅にずれ込む恐れがあるため、前定例会で「道路整備の財源確保を求める意見書」を採択し政府に提出したところです。

知事は、県議会と歩調をあわせ、全国知事会等でこのことを要望していく決意があるのかお伺いします。

答 近畿自動車道紀勢線と熊野尾鷲道路は、式年遷宮にあわせて供用を開始する目標です。このためには、必要となる事業費を毎年確保することが不可欠で、道路特定財源制度による安定的な財源の確保が重要であると考えています。

政府は、道路特定財源の見直しに関する具体案を示す予定と聞いており、また全国知事会では、道路特定財源制度のあり方を含む報告書をまとめる予定です。今後とも、道路整備の重要性と道路特定財源制度による財源確保の必要性を、積極的に発言していきたいと考えています。

整備進む熊野尾鷲道路
（第五トンネル）

● その他の質問事項

○ 森林行政について　他